客観的情勢ヲ指摘シナケレバナラヌ。政府ノ現在ノ政策ニハ、前述ノ様ニ農民對策トシテ何等ノ新方向モ見出サレヌ。ソレハ、從來ノ資本家地主政府ノ農村對策ノ継承デアリ、延長デアルニ過ギヌ。ダガソレニモ拘ハラズ、全ク異例的ナ第三次議會ヲ開イテ、特ニ「救農對策ヲ議シヨウトスル事ハ、支配階級ガ現在マデノ農民政策ニ自信ヲ失ヒ、如何ニ動搖シ、如何ニ危惧シツツアルカノ好適ノ證據ナノダ。支配階級ハ今ヤ農民ノ反抗ト闘爭ヲ痛感シテ居ルコウノナイ動搖ト危惧ヲ覺エツツアルノダ。

ソレテ、カヽル事態コソマサニ、ワガ全農ガ闘爭シ、前進シ、發展シ、飛躍シナケレバナラナイコトヲ示スモノニ外ナラヌ。ワガ全農ハ、政府ノ欺瞞的ナ「救農對策」ニ對シテ斷乎トシテ抗爭シ、全農民ノ闘爭ノ先頭ニ立ツテ我等ノ勝利ニ邁進スル。